

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

事業所名:タンブリング

令和7年3月実施

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		基準以上の広さがある。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		基準以上の配置で支援を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		一部段差などがあるので、改善が必要。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		業務改善の会議は行っている。今後は職員への周知も行っていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		出来る限り反映するよう対応している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ブログで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者評価研究に協力し、第三者評価を受けた。今後の継続は未定。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		加盟団体の職員研修などに積極的に参加。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		気になるニーズに対して聞き取りを行い、スタッフ全員でアセスメントを確認している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		受けてこられたものを参考にしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		職員間で打ち合わせをし、活動プログラムの検討を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		週単位でプログラムを編成している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		一日の流れに大きな違いはないが、課題を検討し、設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		児童の状況や、保護者の要望を取り入れ、計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		変更があった場合などは密に確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		気になるところは職員間で共有している。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別記録の項目を、個別支援計画の目標に沿った記載にしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		2か月に1回モニタリングを行い、見直しの判断を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		ガイドラインを把握し、支援を行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発管が対応している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		変更があった時に連絡をもらうようにしているが、忘れてしまうこともあるため、事前に情報を共有できるように調整したい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	該当者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	相談支援が入っていれば出来ているが、直接的な情報共有については今後の課題。
s	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	まだ、そのようなことがないが、あれば提供したい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	そのような連携する整備が整っていない。整備されたのなら積極的に活用したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	保護者が望んでいない場合もあるので積極的に機会は設けていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳を中心に子どもの様子を伝えている。必要であれば電話で対応している
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	他の関係機関で研修などがあれば保護者に周知している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		電話や連絡帳であった場合、支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	茶話会などの企画を検討しているが、今年度は開催できなかった。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情があった場合には適切に対応するよう職員に周知している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月間スケジュールを配布しているが、もう少し情報を提供できるようにしたい
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報保護に基づいて、漏洩のないよう、職員に周知徹底している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		必要があれば対応していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	保護者が望んでいない場合もあるので積極的には機会を設けていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		面談時に保護者に閲覧できるよう、机の上に置いて説明する機会を作っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回、災害と火災を想定した訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会を中心とした研修をおこなっている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束が必要な利用児なし。 身体拘束のマニュアルは作成し、必要な利用児がいる場合には、対応できる体制を整えている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、保護者の要望に応じて対応がされているか	○		保護者から調査を行い対応
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		大きなケガや事故に繋がりがりそうだったケースはヒヤリハットを作成、職員で共有を図っている。